

雑草防止工法

～二次製品の周辺に繁茂する雑草の成長を強力に阻止します！～

- ・雑草防止境界ブロック ・・・ P1～
- ・排水型歩車道境界ブロック ・・・ P15～
- ・防草型路肩ブロック ・・・ P27～

道路などの雑草防止に最も効果的な工法です！



町の景観を
損ねる

歩道幅が
狭い

雑草の繁殖

このような問題の
解決に
お役に立ちます！

WE DO CHALLENGE!! <http://sekiyahume.com>
セキヤヒューム株式会社

山口県防府市大字江泊2544-1

TEL 0835 - 38 - 0121
FAX 0835 - 38 - 0694

NETIS KT-160069-VE

国土交通省新技術情報提供システム

NETIS

KT-160069-VE

雑草防止工法 2021.3.23更新

NETIS QS-150040-A

国土交通省新技術情報提供システム

NETIS

QS-150040-A

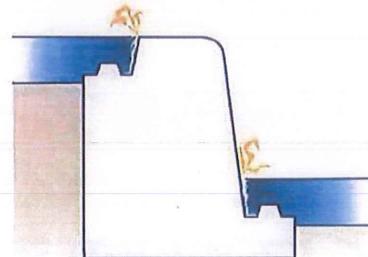
排水型歩車道境界ブロック

雑草が成長出来ない・枯れる 「三大仕組み」について

その1

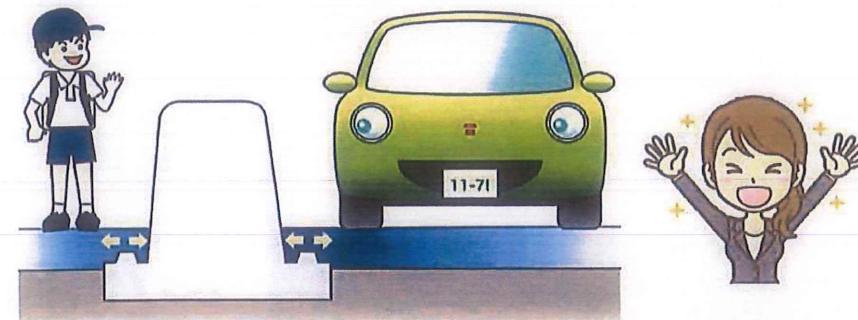
雑草のほとんどはブロックとアスファルトの僅かな隙間から草の種子が入って成長します。しかし本工法は雑草が伸びかけてもコンクリートの突起があるため雑草の根が成長できない構造となっています。

そのため雑草の成長が自然に止まり枯れてしまいます。防草効果は20年近くも持続することが長い追跡調査の結果から確認されています。



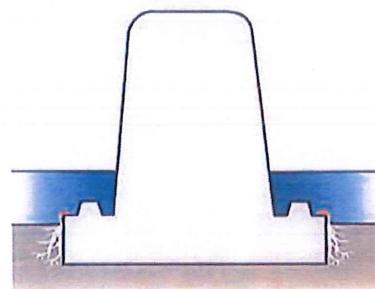
その2

ブロックの突起とアスファルトが噛み合うため、アスファルトが冬の収縮や車の振動等に対して隙間がほとんど発生しない構造となっています。そのため雑草の成長を助長する隙間環境を阻止しています。



その3

次の様な事例は非常に少ないですが、仮にアスファルトの下から雑草が伸びようとした場合でも凸状突起部があるので、芽と根の成長を自然に止めて枯らす構造になっています。



除草作業等の維持管理費の

大幅削減！

ここが
ポイント
です！

ここが
ポイント
です！

ここが
ポイント
です！



“□”
ここがポイント

「雑草防止工法」防草ブロックの特徴

①

「施工実績日本一！400km以上」 2017年統計抜群の信頼を獲得しています。国土交通省、都道府県をはじめ各諸官庁に豊富な実績が多数あり、数多くの現場写真集もあります。



20年間の「追跡調査」

2~3年の実績ではなく、5年・10年・20年単位の追跡調査が必要です。また、日本雑草防止工法研究会は「日本雑草学会」の会員です。



「草刈り費用ゼロのコスト削減工法」

草刈りにかかるコストはほぼ発生する事がない、仮に小さな雑草が生えたとしても暫くすればほとんどの植物は自然に枯れています。

コストダウン



現場での施工管理が従来工法とほぼ同じためトラブルが発生しません。

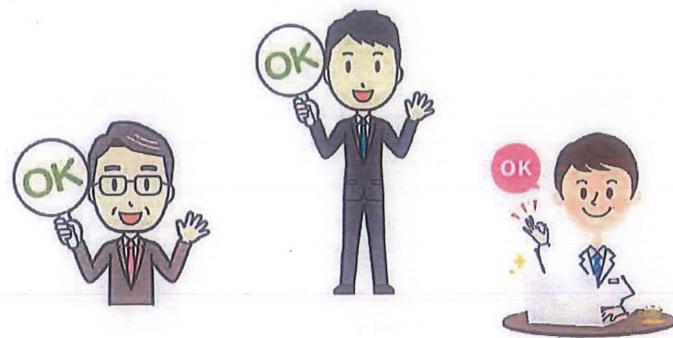
「クレームゼロ工法」とも言われています



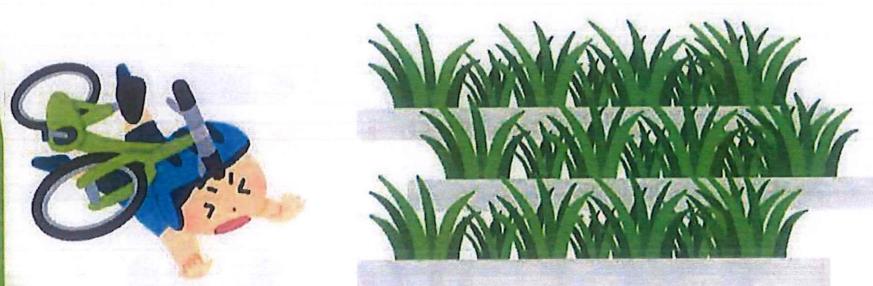
「雑草防止工法」防草ブロックの特徴

②

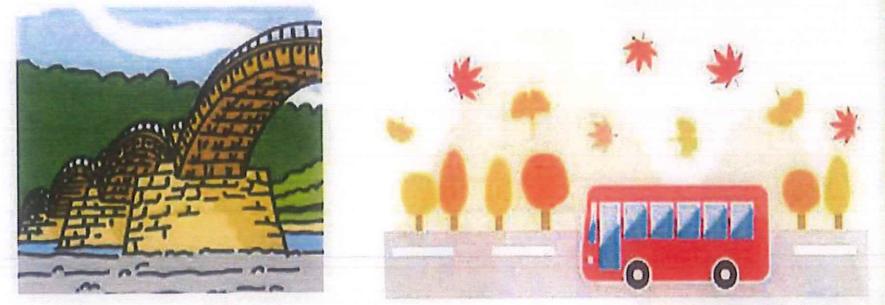
製品価格と施工費は従来工法と大きく変わらず、高付加価値のついた「コスト縮減工法」です。そのため「積算・工事費が従来と大きく変わらず簡単」です。



歩車道境界ブロックから茂った雑草で自転車の転倒事故やヒヤリハットが起きています。「雑草防止工法」は、「交通事故の防止と減少」に役立ちます。



道路の雑草が無くなることで景観が良くなり「道路環境の改善」になります。特に「交通規制のかけ難い場所 観光地での使用は環境美化」の観点から大きなメリットを生みます。

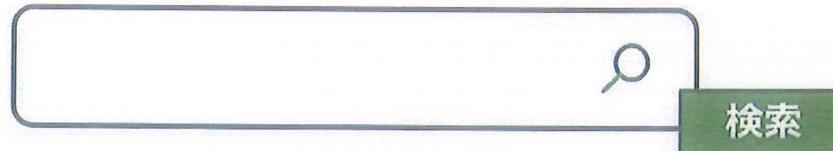


再舗装の施工が「従来工事と同じ要領」で行えます。「防草機能」も持続します。施工後の評価も良く、官公庁によっては「防草機能を有する製品」として指定頂く場合もあります。



「雑草防止工法」防草ブロックの特徴 ③

NETISには「雑草防止工法KT-160069-VE」に
「事後評価済み技術」で掲載中です。「排水
型歩道境界ブロックQS-150040-A」等もあり
公知の優れた工法として認知されています。



NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

日本雑草防止工法研究会の「会員約60社」
(2018年現在)で全国の都道府県に供給体制
を確立済み! 詳細についてはお近くの会員社
にお問い合わせ下さい



©DESIGNALIKE

従来のJIS製品の計上をそのまま確保しており
断面欠損等は無く、従来通りの「安心・安
全」が確保された構造です。



安心

安全

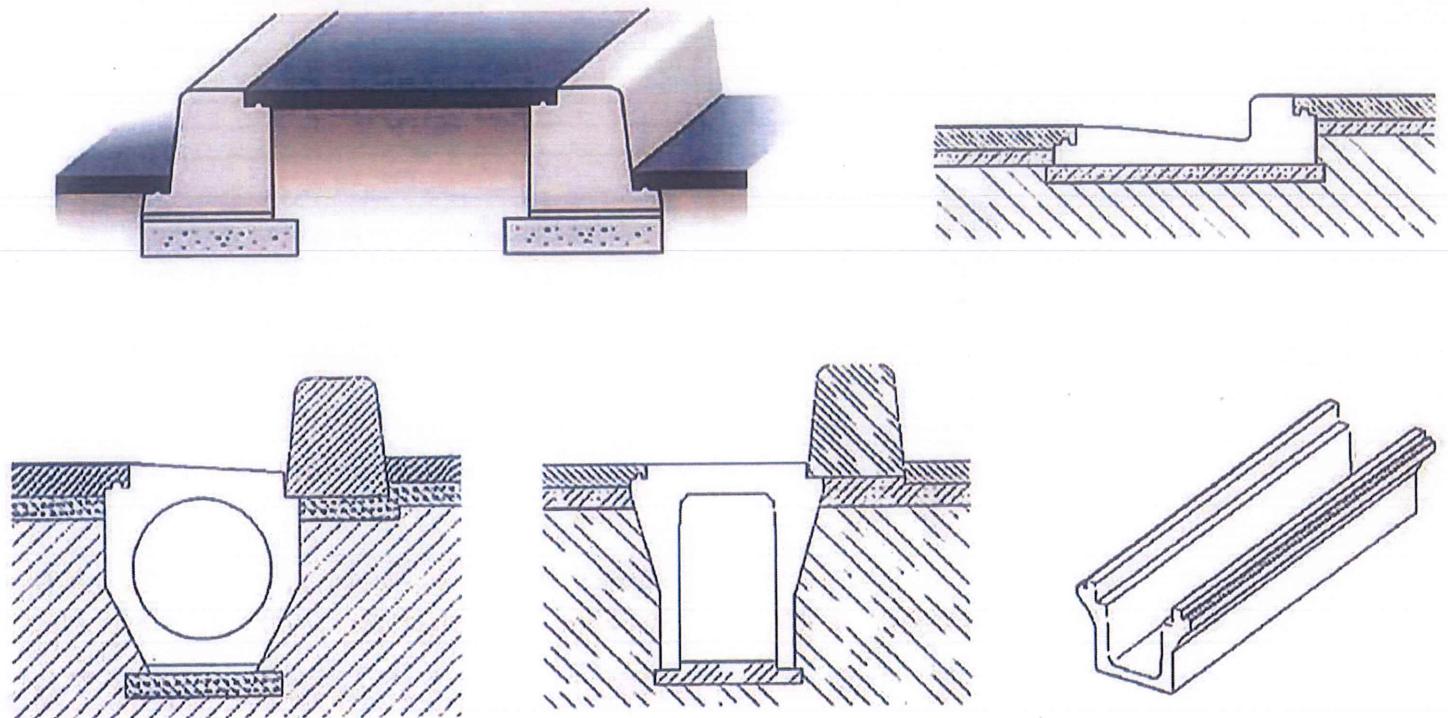
雑草防止工法は今から約20年前、日本で最も
早くに「防草機能を有する製品」として歩道
境界ブロックを開発・実用化した「バイオ
ニア工法」です。長い時間をかけた地味で真
面目な開発の結果です。安心してご利用下さ
い。



「雑草防止工法」防草ブロックの特徴

④

対応する製品の種類は歩車道境界ブロックのみならず排水型歩車道境界ブロック・路肩ブロック・暗渠形側溝・鉄筋コンクリートL形・溜枡・L形擁壁等、多岐に渡ります。特許をはじめとした「産業財産権を約30件」取得しています。更に新しい用途の開発を毎年行い、拡販を強く推進しています。



【お断り】

ただし、ここに記載されている内容は雑草が生えないという保証ではありません。舗装の亀裂・粗い舗装骨材・土砂やゴミの堆積等から成長する雑草の繁茂を止める機能は有していません。宜しくご理解の程、宜しくお願ひ致します。

山口県型 雑草防止境界ブロック

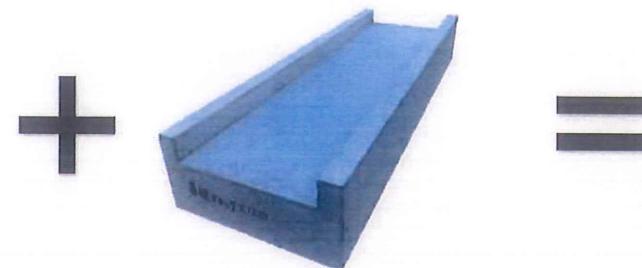
道路などの雑草防止に最も効果的な工法です

WP:Weed Prevention
(雑草 防止・阻止)

防草型境界ブロック



基礎ブロック



山口県型
雑草防止境界ブロック



雑草防止機能を有するだけでなく
工期短縮にも寄与する製品です。



※ 通常施工の場合

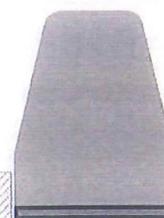
基礎Con



基礎碎石

基礎Con

基礎碎石



基礎Con

基礎碎石



基礎コンクリート

基礎碎石

- ① 掘削
- ② 基礎碎石を転圧
- ③ 型枠を組む
- ④ 基礎Con打設

基礎Con硬化後

- ⑤ 型枠を外す
- ⑥ 敷モルタルを敷く
- ⑦ 境界ブロック据える

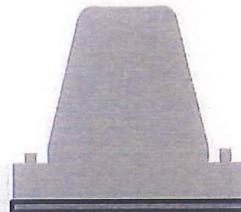
- ⑧ 斜線部の型枠を組み
- ⑨ 斜辺部のCon打設

- 斜線部のCon硬化後
- ⑩ 斜線部の型枠を外す

完成

※ 雜草防止境界ブロックの場合

基礎ブロック



基礎ブロック

基礎碎石

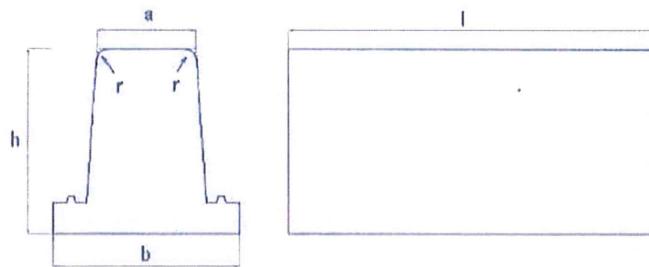
基礎碎石

- ① 掘削
- ② 基礎碎石を転圧
- ③ 基礎ブロック据える

- ④ 敷モルタルを敷く
- ⑤ 境界ブロック据える

完成

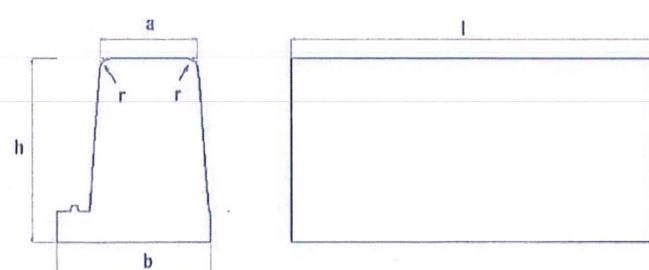
両面タイプ[°]



単位:mm

種類	a	b	h	L	重量
L=600				600	85 kg
L=1820	160	304	300	1820	255 kg

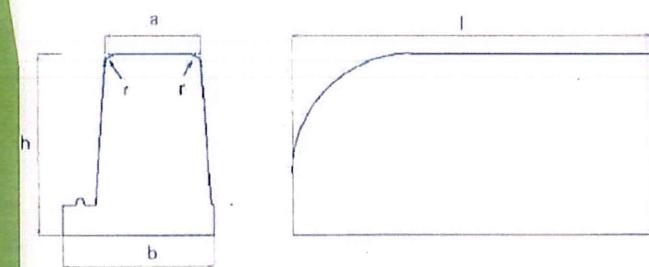
片面タイプ[°]



単位:mm

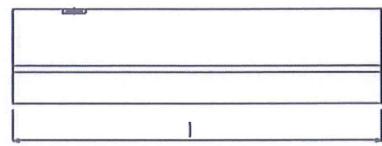
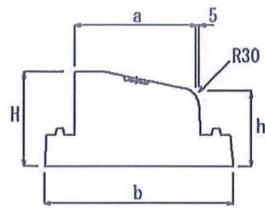
種類	a	b	h	L	重量
L=600				600	81 kg
L=1820	160	253	300	1820	243 kg

コナタイプ[°]



単位:mm

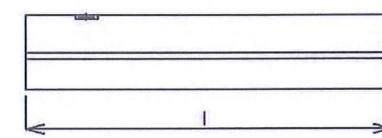
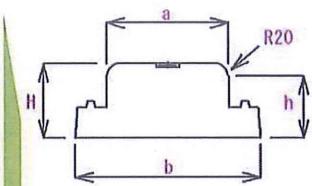
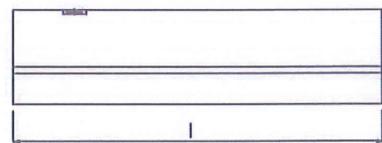
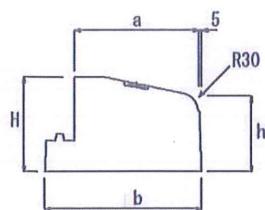
種類	a	b	h	L	重量
両面					79 kg
片面	160	304	300	600	75 kg
	253				



車道乗入部 セミフラットタイプ

単位:mm

種類	a	b	H	h	L	重量
両面		305				48 kg
片面	200 255	150	120	600		44 kg



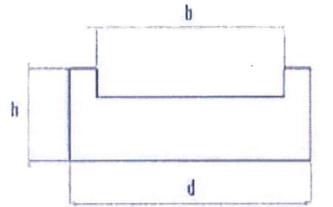
車道乗入部 フラットタイプ

単位:mm

種類	a	b	H	h	L	重量
両面		302				41 kg
片面	200 252	120	100	600		37 kg

基礎ブロック

単位:mm



種類	b	d	h	L	重量
L=600				600	63 kg
L=1220	320	400	170	1220	128 kg
L=2000				2000	210 kg

雑草が生えるのを防ぐ

雑草防止工法の

ポイント形状

“凸”

雑草抑制機能部 詳細図

